

1 目的

本校生徒は、農業に触れる機会が多いため農業に対する興味関心が高い。しかし、家業の手伝い等で農業を経験しているため、地元の農業を知る機会が少ない。そのため、本事業を通して、島内の優良農家で視察研修したり関係企業の工場を見学したりすることで、より一層農業への関心を高め、未来の農業後継者を輩出したいと考える。

2 実施状況

(1) 農業後継者の激励会実施

本年度は、農業大学校畜産学部へ進学した生徒と、JAへ就職した生徒へ記念品を授与した。



(2) 校外学習研修の実施

ア 株式会社 永吉ファーム

島内で600頭以上の生産牛を管理している農家へ視察、研修を実施した。敷地内の見学や取り扱っている農機具の説明を受け、徳之島で畜産農家として生計を立てていく上での心構えなどを聞くことができた。

見学後は、従業員の方と本校生徒が管理作業の手伝わせていただき、家畜を取り扱うことの大変さや楽しさを経験した。



イ 福岡 輝男 氏(複合経営農家)

徳之島地域畑かんマイスターとして、地域に根ざした農業を推進している福岡氏の農場視察を実施した。

そこでは家族経営で園芸と生産牛管理を営んでおり、畑かんを活用した新規品目への取組を行っている。生徒たちにとって将来の目標が見える視察となった。



ウ 奄美大島にしかわ酒造

食品製造の授業で加工についての知識を学び、今回の工場視察でより学びを深めた。麴をつくる作業や発酵、蒸留など日頃経験することのない作業工程を直に学ぶことができた。

